

第3章 飲酒行動およびその影響を理解する 扉のことば（門脇 崇）

アルコールは飲酒者個人の健康状態に良い影響や悪い影響を与えるばかりではなく、飲酒者の生活や社会に対しても影響を与えることがある。この章の前半では、アルコールに関する総説的な論文を中心に飲酒との関わり方、適切な飲酒行動・意識についてまとめた。後半では、飲酒に関わる問題行動、アルコール依存症の機序や治療に関する報告を中心に掲載した。尚、先進諸国では、アルコールに関連する家庭内暴力や未成年の問題行動などについても大きな社会医学的な問題として扱われているが、現在の我が国の状況を鑑み、これらの内容についてはごく一部を含むに留めた。

この章の内容

- I. 酒との関わり方（論文番号 191～230）
- II. アルコール依存症（論文番号 231～265）

門脇 崇

1994年 滋賀医科大学医学部卒業、1998年 米国ジョンズホプキンス大学公衆衛生学部修士課程修了、2000年 滋賀医科大学大学院博士課程修了、その後、滋賀医科大学福祉保健医学講座助手。主たる研究分野は、循環器疾患の予防医学、健康教育の手法とその評価。